

Harvard Graded Direct Method Teachers' Group News Bulletin

第 13 号 英語教授法通信 1964年 8 月 1 日

編集・片桐ユズル 発行・英語教授法研究会 事務局 東京都東村山市公園久米川37-7 Tel. (0423) 9-2605 内線 504

イスラエルの GDM

吉 沢 美 穂

昨年の夏、イスラエルで行なわれた GDM Workshop に出席の機会を得ましたので、それについて報告、直接 GDM に関係のあることだけを述べることにしました。イスラエルの英語教育の一般的背景、その他この研究会について一般的なことは、大修館、「英語教育」の 6 月号に書きましたので、併せて読んでいただきたいと思います。

授業実演は、初心者 は 4 頁、1 年目のクラスは 130 頁あたりから、2 年目のクラスは 215 頁あたりから、ETP Book I の頁を追って忠実に行われました。教師の質、生徒の発表の active であったこと、discussion の様子などは「英語教育」を御参照下さい。

授業の進めかたは、初心者クラス第 1 日を除き他はすべて次の通りでした。

New lesson :

1. Captionless filmstrip で、本の通りの文を教師が云い、生徒は一せいにまねをする。文があまり長い時は教師が適当に短くすることもある。その日の lesson を 1 回通してから初めにもどし、もう 1 回くりかえす。

2. Oral demonstration. すなわち研究会で練習しているようなやりかた。この場合は本以外の situation や単語も使う。

3. Captionless filmstrip. 1 と同じ。通

して 2 回。

4. Captionless filmstrip を使って free composition

5. Reading および workbook

前回までの review は、場合によって、1, 2, 4, (この場合くりかえしなしで 1 回だけ) または 2, 4, または 4, 2, または 4 だけ。

GDM を実施している学校では、すべて filmstrip が使えるので、この手順はすべての学校で行われているようでした。レコードは使われていないばかりか、その存在さえも知られていないようなので、レコードを使えば、前述 1 と 3 の時、生徒の発言が、4 の場合の natural speed とちがって、まるで歌っているようになる欠点は解決できると提案して、大そうよろこばれました。



I am here をやっていたアラブの子どもたち

この手順で授業を進めると、例えば oral demonstration の下手な、不なれな教師もとにかく本の頁を追ってやって行くことができるので、まずまちがいのない方法だと思いました。

初歩のクラスの第1回目の授業は、ハーバードから来た講師のひとり、元気のよい男の先生によって行なわれた模範授業のようなものでしたが、まず教師が "I am David." と自己紹介、次に生徒にひとりずつ "I am ___" の形で発表させました。全員云えない者はひとりもなし。終りの方は相当な speed でやりました。次に生徒を数人前に出し、各適当な位置に立たせて、4頁から7頁まで、ほとんど1時に導入してしまいました。そのあと、3と4の活動。それで次の日の4、2の review の時も別に混乱もなく、みなよくできたのは注意すべきことでした。

授業のあとの討論の時、予期したように、"こんなにたくさん教えて大丈夫か" との質問が出た時の答は次のようなものでした。

Confusion is precious. When the students overcome the confusion, they learn.

There is nothing which is not difficult.

Students must think; they must work.

Force students to the new situation.

Don't underestimate students' ability.

また生徒の mistake についての質問、"Isn't it fatal to pass mistakes at this initial stage?" についての答 "It is more fatal to break up sentences. Correcting mistakes should be a pause, not a stop. Don't make students afraid of making mistakes."

また発音の点については、free composition は、発音をなおす時ではないこと、また発音の練習に word や sound を isolate しないこと、short sentence でやることなどが

強調されました。

以上述べたことから、ハーバードの直接指導のもとに、イスラエルで行われている GDM は、われわれがやっている方法よりは、大ざっぱなやりかただと云うことができましょう。しかし、これであれだけの成果があがるのならば、私たちのやりかたが、きめがこまかすぎるといえることが、かえて生徒の能力をおさえている結果になってはいはしないでしょうか。生徒の質から云っても、教師の能力から云っても、日本ではもっともっと成功するはずだと思います。

Workshop から1年たった今、去年の初級の生徒がその後どんなになっているか、Mr. Smith の journey のあたりをやっているのを見たい気持ちが一ぱいになります。

研究会メモ

9月 東京立正中学1年生に高橋美智さんが go をおしえた。

10月 東京立正中学1年生に吉沢美穂さんが with, together, again などをおしえた。

11月 都立杉並高校2年生の授業見学。升川さんの Grammar の時間。

12月 厚生年金会館でXマス・パーティー。

1月 日大二高英語クラブに片桐ユズルさんが as のいろいろなつかい方をおしえたあと、Paris as Mrs. Yoshizawa saw it という映画をみた。

2月 日大二中英語クラブに関美代子さんが which の関係詞、丸井和子さんが through, into, out of などをおしえた。

3月 池袋東電サービスセンターで升川潔さんの Controled Conversation.

4月 日大二中英語クラブに渡辺房子さんが here, there のところ、升川潔さんが This, That, 所有格などをおしえた。

5月 日大二中英語クラブに箕田兵衛さんが in, on などをおしえた。

Basic English

おぼえがき(5)

室 勝

1959年7月から4回にわたって、わたしは「Basic English の背景と歴史」という題で書いて来ましたが、こんどこれを続けることになりましたが、その間に流れた年月のため、わたしの気持も当時ほどは、気負ったところがなくなり、また Basic English から見た客観的状況も以前とは少しずつ変わって来たような気がします。それでこんどは「歴史と背景」などと、かたくならずに、そのつど、Basic に関する短いエッセイのようなものにしたと考えています。

この二三年、講演会や、座談会や、また個人的な話し合いの形などで、時々 Basic English のことをしゃべらざられましたが、そのあとで、いつも感じたことは、Basic English に賛成するとか、不賛成であるとかいうのは根本的には Basic English に関係したことでないということなのです。

Basic English をそのまま、う呑みにするとか、しないとか、Basic English の応用方面で、いろいろ違った意見を持つとかいうことで、人によって違いがあるのはあたりまえです。しかし、どうも Basic English は気に入らないという人は——こういう人は、そういう会のあとなどでする質問の仕方ですぐわかるのですが——実は Basic English そのものが気に入らないのではなくて、Basic English がその立場としている、考え方そのものに反発しているのだと思います。いや反発しているのではなくて、Basic English のもととなっている言語観がわからず、そのわからない自分に、自分でも気がつかないままに腹を立てているのかもしれない。

この言語観は言うまでもなく現代意味論の出発点となった Ogden と Richards の The

Meaning of Meaning の立場であり、またそのもととなった Jeremy Bentham の言語観です。ここから流れ出た、言語の、特にその意味機能についての考え方は、細部については意見の相異があっても、共通の基盤として、大きく言語についての現代の考え方の中に流れていると見ていいでしょう。

Basic English を理解するための第一歩はまず言語の道具性をみとめることでしょうかがこのところでもうつまずいてしまう人が多いようです。言語は思考の道具であるとか、情報交換の道具であるとかいうと、もうそろそろ気持ちを悪くする人が多いらしいのはおどろきます。ここでもう「道具」という語を emotive にうけとって、言語を冒瀆するもの文学をないがしろにするものという印象をうけるらしいです。しかし文学も言語を手段とする作業である以上、言語がともかく伝達の具として使われていることはたしかです。

このように言語を一種の道具として考えることと、うらはらとなるもう一つの大事な考え方は、一つの目的を達するためにはいろいろと変った手段がある、という一般的考え方との関連性です。わたしたちは、何か事をやりとげようとする、それがむずかしければむずかしいほど、さまざまな手段を講じようとします。これと同じように、わたしたちが、何かを伝達しようとするれば、さまざまな言い方で、それを表現します。このばあい、わたしたちは同じ「こと」を言ったのだという意識があります。ところがここにこういう反論が成り立ちます。

すなわち、「一つのことを言いあらわすには、ぬきさしのできない一つの表現がある」という議論です。この考え方をふりかざして、いわゆる文学の「観賞法」などを教えるわけです。わたしがむかし中学生であった頃など、国語の先生からよくこれに類した議論

で、「どうだこの夏目漱石の文は名文だろう。この中の一字一句でも変えたらすっかりこの文はだめになってしまう」などと聞かされると、なるほどそうだと思います、これが、ことばの仕事の本質にふれることのように思っ
て感じたものです。(つづく)

ニュース

6月 第7回公開講演会、代々木の婦選会館で会場を超満員の盛況であった。講師、Richard Linde, 室勝, 吉沢美穂。授業実演, subjunctive のおしえ方, 升川潔。

サマー・セミナーは例年のとおり7月27日から8月1日まで毎日午前中ルーテル英語学校でおこなわれる。講師, 吉沢美穂, Frederick Uleman, 片桐ユズル, 升川潔。

People in Livingston のつづきの話の版權を獲得したので, Book 2 がちかく出る予定。いまから予約してくれると, 出版部は計画をたてるのにたすかります。

消息 (名ボなどをなおしてください) ——

Chappell さん住所の呼び方が 400 Avenue Road, Apt. 201 とかわりました。

藤島和子さんの住所は, 井草1-45-2がほんと。

後藤億良さん, 新会員, 小金井市貫井南町2-343 大沢方, 日大二高勤務。

片桐ユズルさん, 都立杉並高校をやめて都立工業短期大学へ。

片桐ヨウコさん, 1月にお嬢さん誕生。3月で女子美術附属中学退職。

小林巖さん, 新住所, 国分寺町野中新田 658 升川潔さん, 都立杉並高校全日制より定時制にかわり, 昼間はICUの大学院でべんきょうするかたわら, graduate assistant として Freshman English をおしえて多忙。

升川綾子さん, 12月にお嬢さん誕生。代々木上原中学から調布中学にうつった。

箕田兵衛さんの新しいつとめ先は大田区立蓮沼中学。

大野浩さんは都立八丈高校から府中高校へ。

高橋美智さんは東京立正から玉川学園中学部へ。

上田恵弘さんの新住所, 中野区城山町40関口方。

山口初裕さんは江戸川区立小松川3中にかわり, 新住所は千葉県習志野市谷津町7-880。

山崎純子さんは藤田純子さんとなり, 新住所は, 葛飾区砂原町1-140 美波荘。

吉沢美穂さんの電話, 局番かわって (429) 5929。

相沢佳子さん。3月に坊ちゃん誕生。都立桜水商業高校退職, アルバイトを求めています 新住所, 港区青山南町2-44笠原方。

小林久子さん, エジプトのアレキサンドリア大学のサマー・セミナーに8月から参加。

正富輝弥さん, 4月から啓光学園高校につとめている。

English Through Pictures, Books

1 and 2.....¥220 each

First Workbook of English

(大判) ...¥ 240

(ポケット判) ...¥ 170

First Steps in Reading English

.....¥ 170

Teachers' Handbook for English

Through Pictures¥ 400

Anglophone Records for English

Through Pictures, Series 1 and 2

.....¥ 5,000 each

チャールズ・E・タトル商会

神田店 東京都千代田区神田神保町
1-3 TEL. (291) 6867

高島屋店 東京都中央区日本橋高島屋
6階 TEL. (211) 5029